



発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代 1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子

小網代通信

2021年4月号 VOL-274

今月の内容

== 新型コロナ対応について KYC 会長 野村 ==

近々、東京都に「まん延防止等重点措置」が適用されます。また、神奈川県にもいつ発令されてもおかしくない状況になっております。引き続き新型コロナウイルス感染症予防を継続してご対応ください。気を緩めることなく、大事なヨットと小網代の仲間を守っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症予防のためのクラブハウス利用規則 (3月22日)

http://koaziroyc.jp/news/COVID19/COVID-19_Clubhouse_Policy_0322.pdf

ご協力のほどよろしくお願いたします。

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「オカに上がったヨット乗り」	畑中 洋二 (IXORA)	2～3ページ

連絡事項 (編集委員)

1. <緊急事態宣言の解除後の対応について臨時総務委員会を開催>

3月6日(土)に臨時総務委員会を開催いたしました。3月21日(日)まで延長された緊急事態宣言が解除された時のKYCの対応と活動方針について協議しました。検討の結果、KYC会長からのメッセージとして「ホームページ」と各艇オーナー宛へのメールが発信されました。

解除後、一時的に感染者数も減少がみられましたが、4月に入り大阪など関西圏にて急激な感染拡大を示し、「まん延防止等重点措置」が適用されています。首都圏でも感染者が増え始めており、いつ適用されてもおかしくない状況になっています。これにともない4月KFRは中止となりました。

・現在、クラブハウスは、トイレと手洗いが使用可能となっています。

・艇の点検整備は、各艇でご判断ください。温暖化が原因なのか海水温が高く、船底の汚れがひどいようです。

2. <クラブハウス内の自販機 取扱商品変更のご案内>

4月1日より規制により当クラブ内自販機でのノンアルコールを含む酒類の設置ができなくなりました。同じ商品は、小菅商店で在庫していただけるとのことですので、ご利用ください。



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 4月19日(月)20:00～ web 会議開催予定】

2021. 4月号-1

【 オカに上がったヨット乗り 】

IXORA 畑中洋二

小網代にお世話になって半世紀、それがなぜか今は生活の軸足が海の無い長野県に。それでもなんとか月に1-2度は小網代へ足を運んでいた。軽井沢に軸足が移りつつある時に信越放送のラジオトーク番組に引っ張り出され、なぜヨット乗りが海の無い長野県にというテーマでインタビューを受けたことがあった。何を話したか全く記憶が無いが30分間をなんとか終えることができた。多分相手をしてくれたEさんが上手かったのだろう。



オカに上がってしまった私がなんとかヨットから離れずにいることができたのは、小網代ヨットクラブのクラブ員であり毎月KFRに参加しようと言う気持ち(気持ちが大事)と、1年に約2ヶ月、海外でクルージングに行く事が出来たためだろう。ところがそれも昨年世界を襲ったコロナ禍でKFRは中止、続けてきたクルージングも途絶えてしまった。



昨年予定していた航海はオランダのアムステルダム近郊からドイツ、デンマーク、スウェーデンとあまり馴染みのない国であり、またその予定航路は殆ど内陸の運河と内海で非常に魅力多い行程だった。

長野県にこもっている中で、里吉さんより原稿の依頼があり、何かテーマは無いかと2008年に始まったArco Iris 3での航海の写真を整理して、あれこれ考えている内に原稿のことを忘れFaceBookにその写真を振り返り載せ始めてしまい当然原稿も手付かずとなった。里吉さんからは原稿催促のメールが数度！今日の里吉さんからのメールでようやく重い腰をあげる事となった。とは言うものの何を書いたら良いのやら・・・。

最近、海外でのヨットクルージングはKYCの中でも行かれる方も多くなって来たが、我々が航海を開始した10数年前はまだそれほど多くは無く、日の丸を掲げているヨットには全く会うこともなかった。なるべく多くの港に寄港することを楽しみの一つとしているArco Iris3は毎年私が参加している2ヶ月間で25~30箇所に街に寄港し、入港の手続きをすると日本のヨットは初めてということも数多くあった。その街は港を中心にして形成されているところも多く、すぐ目の前の街には城壁、城があり入港するときの気分は最高だ。城壁の中には旧市街があり、そこを散策するのは抜群である。入港時一番楽しみにしていることはトイレ、シャワー、Wi-Fiの設備がどれだけ整っているかだ。最初の頃はトイレに便座がついてないのは当たり前、シャワーの温水は貯湯タンクが空になればあとは水、なんて言うことがあったが、最近はどこに行っても便座がついているようになった。マリナーでのWi-Fiの接続はアンテナから離れていることが多く感覚が悪く、近くのカフェのWi-Fiを利用することが多かった。私は後に、やらなければよかったと後悔しているが、毎日航海日誌を友人たちに送っていたのでWi-Fiの接続は必須であった。

多くの日本人ヨットがお世話になる日本人がスペインにいる。その人はスペインの南岸のアルメリアの近くのマリナー Puerto Deportivo Almerimarに勤めている林史彦さん(通称:フミさん)だ。

このマリナーは1000艇が収容できるが、当時はそのうちの300艇がここをホームポートにしていて、後の700艇は地中海を航海するヨットが立ち寄る港だ。

大西洋から地中海に入るヨットはジブラルタル海峡を越えこのマリナーに立ち寄り、また大西洋へと出て行くヨットもここに立ち寄るのだ。そしてその度にこのフミさんにお世話になる。

多くの日本人がフミさんを囲み交流ができ、毎年一度帰国するフミさんを囲み食事をする。



右が、フミさん

この会はアルメリマル会と名付け、その会ではフミさんにお会いできるという楽しみと、ヨーロッパでクルージングをする方達の集まりなのでお互いの情報交換の場でもある。この会も去年はフミさんがコロナ禍で帰国出来ず、アルメリマル会を開催することが出来なかった。Arco Iris 3も2008年の秋に Almerimar に入港、冬の間保管してもらい大いにお世話になり、私も翌春から2009年の航海が始まった。フミさんやそのお友達と食事をし、フミさんの車を借りたりしてすっかりお世話になった。

Arco Iris3 は2007年フランス大西洋側のラロッシュェルで進水、翌年2008年より航海を始めた。フランス、スペイン、ポルトガル、ジブラルタルから地中海に入り、スペイン、フランス、イタリア、チェニジア、マルタ、イタリア、クロアチア、モンテネグロ、ギリシアまで東に進み2011年に折り返し、再びアルメリマルのフミさんにお世話に。その後2012年に大西洋を横断、ブラジルからカリブ海に、2017年から2018年、正月を挟んで再び大西洋を横断、ポルトガルに戻りヨーロッパクルージングを再開した。私は大西洋横断、ブラジルには参加せずカリブ海には2度参加した。私の感覚からは南国の港への入港よりヨーロッパの古い歴史のある街への入港の方が期待感大きく楽しい気がする。

Arco Iris 3 でのクルージングには航海開始前の進水直後、数日間のクルージングにネプチューンの古屋さん、2008年から2011年の4年間はテティスの伊藤さん、2008年にはネプチューンの古屋さん、2015年のカリブ海にはケロニアの大谷さんと横山さん、2019年のポルトガル、スペイン、フランス、イギリス、フランス、ベルギー、オランダにはケロニアの横山さんにご参加頂きました。

今年はまだコロナ禍が世界的には収まりそうもなく、残念なことになりそうだ。また小学校から高校まで同級生の Arco Iris 3 のオーナーも私も来年は76歳、今後も続けられるかどうかは少々不安がある歳に近づいてきた。オランダで終結とならないよう祈っている。

